

進路通信

入学・進級おめでとうございます。いよいよ新しい学校生活が始まりますね！これからの1年間は高校生活の大事な1年として、行事や部活に打ち込むと同時に、将来の進路を決める重要な時期でもあります。今までとは違い、これからは進む道が1人1人違います。自分をしっかり見つめて、目標を定め、希望進路の実現に向けていろいろな挑戦をしてください。

皆さんの希望が叶うように進路指導部ではできる限りサポートしていきます。まずは、『相談』から始めましょう。気軽に声をかけてください。

1 進路指導部

荒井えりか（地歴科）	佐藤一博（園芸科）	永井幸大（公民科）
荒木葵（理科）	阿由葉健人（英語科）	菊池双美（家庭科） 中込祥高（理科）

2 進路資料室・進路相談室・ガイダンスルーム1

場所… 管理棟2階

時間… 昼休み・放課後（16:30まで）

進路資料室

進路に関する資料が閲覧できます。

大学・専門学校・職業能力開発センター等のパンフレット、求人票、会社案内、受験レポートなど

※資料の持ち出し不可、飲食禁止

進路相談室

個別面談等を行う部屋です。

ガイダンスルーム1

自習ができる部屋です。様々な資料があります

① 赤本（各大学の過去問題集）約600冊

⇒ガイダンスルーム1内での閲覧は可能ですが、無断持ち出し厳禁。

借りたい場合は進路部の先生に声をかけてください。

なお、最新年度版は、図書館で借りることができます。

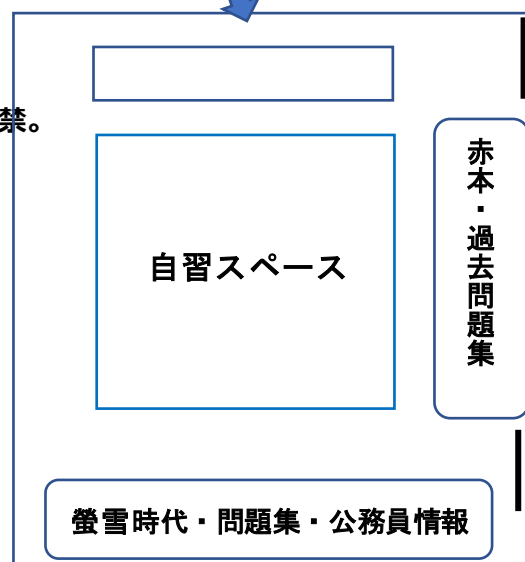
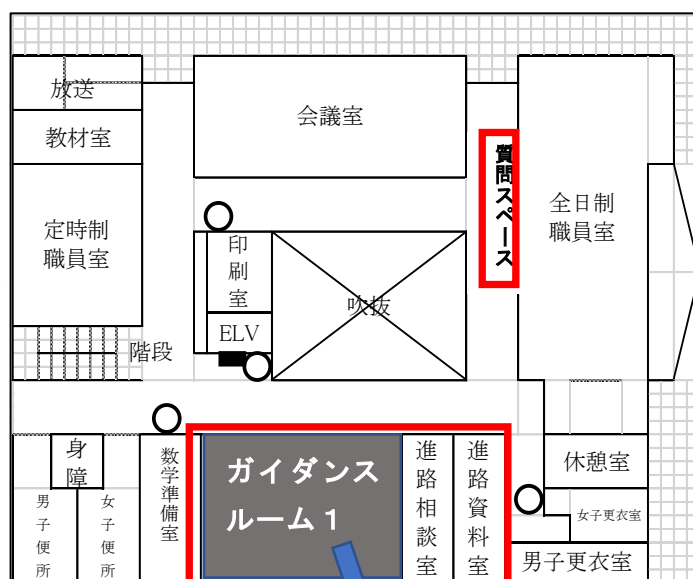
② 科目別過去問題集

③ 小論文対策資料

④ 過去の模試、公務員模試

⑤ 螢雪[けいせつ]時代（大学の学部・学科案内や今年度の入試情報などが載っています）

⇒ ②～⑤は原則貸出禁止。事情がある場合は進路部の先生に相談してください。



質問スペース

職員室の出入口付近にある机です。分からないところは職員室にいる先生方に積極的に質問しましょう！

3 進路ノート

進路に関する情報を載せた本校作成の資料です。進路を考えるときに活用してください。5月に発行予定（電子版）です。

4 進路希望調査

進路は「なるべく早く考え始める」「情報収集」「家庭での話し合い」が大切です。この調査をきっかけに家族で話し合いましょう。さまざまな選択肢の中から進路希望を見つけられるように、早くから進路希望について考え、情報収集を始めましょう。

5 入学・進級直後の今だから知っておいて欲しいこと

(1) 成績について

高校は3年間の各科目の成績の平均点が重要です。この平均点を“**評定平均**”と呼び、進学・就職いずれの進路に進むとしても、高校3年間の勉強の結果として判断されます。特に進学する場合、推薦を受けられるかどうか等もこの成績によって決まります。1年生の時から成績が、あなたの進路を大きく左右するのです。

(2) 欠席・遅刻・早退について

出席状況についても同じことが言えます。**高校は3年間の欠席・遅刻・早退を重視します。**その回数は、就職・進学（特に推薦で入試を受ける場合）の重要な判断材料となります。理由のない欠席・遅刻はしないようにしましょう。

(3) 学力をつける

どのような進路選択をするにしても、その進路に対応できる学力を身につけてください。卒業後の進路を決めるのはまだ先のように思えますが、いつかは決めなければいけない時期が来ます。**大学入試で競う相手は世界の高校生です。八丈高校の中でも、東京都の中でもないのです。**学力があればどんな進路も勇気を持って切り開くことができるのです。そのためには**毎日の授業を大切に**することです。毎日の積み重ねが学力の向上に結びつきます。

6 3年生へ

大学・短大進学希望者へ

いよいよ勝負の3年生です。進路目標に対して、努力と成果をつなげていくために効率の良い学習を行いましょう。そのために、自分のやるべき勉強をもう一度洗い出して、年間でやるべきこと、学期、月単位、週単位でやるべきことと、大きな予定を軸に小さな予定を立ててみてください。その学習計画に基づいて、1日1日を大切にしましょう。約270日後に2025年が終わります。

みなさんはもう学習習慣は身につきましたか？ 河合塾の集計によると**受験で必要とされる時間は約3500時間**といわれています。また、**3年生の平均学習時間は、部活引退までの1学期間は平日3.8時間、休日4.9時間、夏休みは、7.2時間**です。全国の高校生の平均値を超える学習習慣の確立をめざしましょう。学習習慣を身に付けるために勉強する場所・時間をできるだけ固定することが重要です。例えば平日の放課後、ガイダンスルーム1や図書館などで毎日勉強し、自宅学習へつなげましょう。課題を明確にし、毎日コツコツ努力を積み重ね総合型の自己表現や一般受験につなげましょう。

専門学校進学希望者へ

専門学校への進学は、将来就く職業と直結しています。つまり、将来の仕事を意識して学校を選ぶ必要があります。希望の職業に就くにはどのような分野で学ぶ必要があるのか、どのような資格が必要なのかよく調べてください。専門学校は全国に約2,800校あります。自分にとって必要な教育が受けられる学校を選び抜いてください。3校以上の学校を様々な視点（教育方針、カリキュラム、実習内容、学費、国家試験等の合格実績、就職状況などなど）から比較検討し、保護者の方や担任の先生、進路指導部の先生と相談しながら志望校を決めていきましょう。また、選考は調査書や面接だけでなく、小論文や学科試験を課す学校もあります。毎日の授業を大切に、進路活動をしていきましょう。

就職希望者へ

就職活動のスタートは早いです。夏休みには希望の会社に見学に行き、9月には選考試験があります。高卒求人は、学校長の推薦での応募になり、欠席日数や成績、部活動や委員会活動など高校生活全般をどれだけ積極的に取り組めたかが重視されます。3年生の内容が非常に重要になりますので、4月から気合いを入れて学校生活を送ってください。

また就職活動はそのすべてが社会人になるための準備です。履歴書や面接の準備だけでなく、会社見学のマナーやお礼状の書き方など社会人になったときに必要となるマナーを身に付け、希望の職に就けるように活動していきましょう。

保護者の皆様のための進路通信

新学年に入り、特に3年生の保護者の皆様は、ご家庭で進路について話をする機会が増えてくると思います。高校生の進路は、大学、専門学校、就職と大きく分けて3つに分かれますが、近年は少子化の影響もあり、どの進路先も生徒側に有利な傾向が続いていくと考えられます。

大学について言えば、全国の大学数はほぼ横ばいの中、少子化が続いているということは、必然的に全体の倍率は下がっていきます。上位の著名な大学はどの時代でも倍率が高い状況が続きますが、しっかりと準備をして学力を高めていけば、希望の進路を得られる可能性は高くなります。各大学の受験方法も多岐にわたるので、生徒の能力や個性を十分に活かしていける方法で、希望の進路にたどり着けるように、進路指導部も総力をあげてバックアップさせていただきます。

その際にまず大切なことは、進路先の情報（相手）を知ることです。生徒は校内の進路ガイダンス（1、2年生）や進路総合の授業（3年生）で、様々な情報を入手し、自分に最適な進路を選んでいきます。一方で、保護者の皆様は日々多忙な中で、積極的に進路の情報を入手することが難しいと思われます。そこで、情報の格差が生じて、「話がかみ合わない」、「昔の制度と違って良く分からない」、「そもそも受験用語についていけない…」など保護者の皆様が常に後手に回り、任せっきりになってしまった所にいざお金の話になってびっくりする、ということも起こりえます。そうならないためにも、進路指導部では保護者向けへの情報提供についても常に意識して、サポートをさせていただきたいと考えています。

例えば、進路の会話で何か具体的な大学名が上がったら、その時は良くわからなくても後で情報を補いながら、少し後からサポートをして欲しいのです。最近の高校生は、とにかく情報に素早くアクセスする能力に長けているので、そこは任せても良いと思います。ただ、保護者の皆様は、人生経験と照らし合わせて、情報を深く読み込む能力に関しては上回っているのではないのでしょうか。いわゆる、年の功です。そして、年長者として寄り添い、アドバイスをしていくことが、受験生を持つ親子のコミュニケーションのモデルの1つになると思います。保護者が知りすぎている状況、言いすぎている状況は、必ずしも良いとは言えないかもしれません。これから人生を切り拓いていくのは本人だからです。

今回は、大学進学を希望する生徒の保護者にも参考となる資料として、『君はどの大学を選ぶべきか（電子版）』（株式会社大学通信発行）をご紹介します。800ページ以上の冊子なので、隅から隅まで通読するものではなく、何か具体的な大学名を聞いたら辞書的に活用しても良いと思います。（電子版は、右のQRコードから閲覧できます）
進路通信では、今後も、大学、専門、就職に関連する保護者向けの情報を提供していきますので、ぜひご活用ください。

